

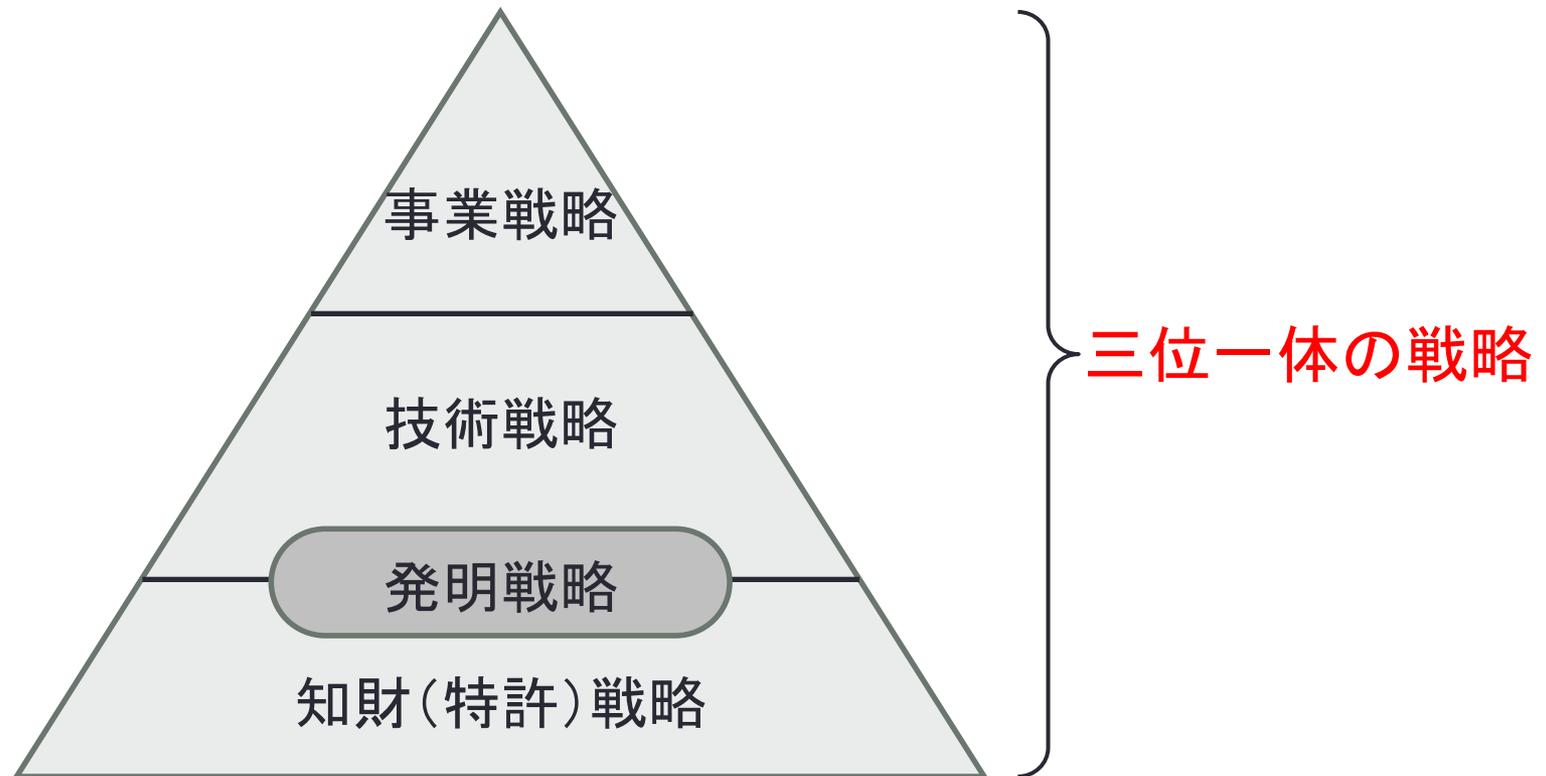
「発明戦略」のためのI-TRIZの活用



2012年9月8日
レゾナンス特許事務所
弁理士 右田 俊介

目次

- 1. 発明戦略について
- 2. 競争戦略と特許戦略
- 3. 事例(転がらない鉛筆)
- 4. 解決ツール(I-TRIZほか)と競争戦略
- 5. 三位一体の戦略と発明戦略
- 6. まとめ



戦略的な発明: 三位一体の戦略を実現するアイデア創作

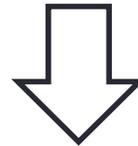
発明戦略: そのためのリソース配分の道筋

従来

- 日本がものづくりをリード
- 「MADE IN JAPAN」がブランド
- 大きな内需

自社製品を堅実にカバーする特許

特許の役割が変化



競争力を獲得し、市場を独占するための特許

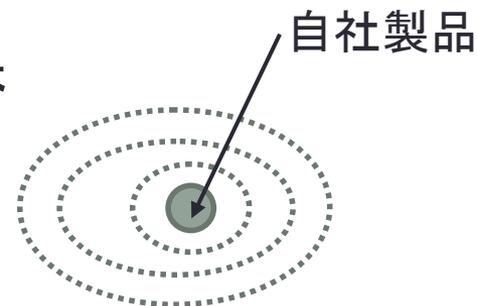
現在

- 東アジア各国の製造技術の向上
- 内需の縮小
- デフレ
- 円高

事業戦略を実現する発明が求められている

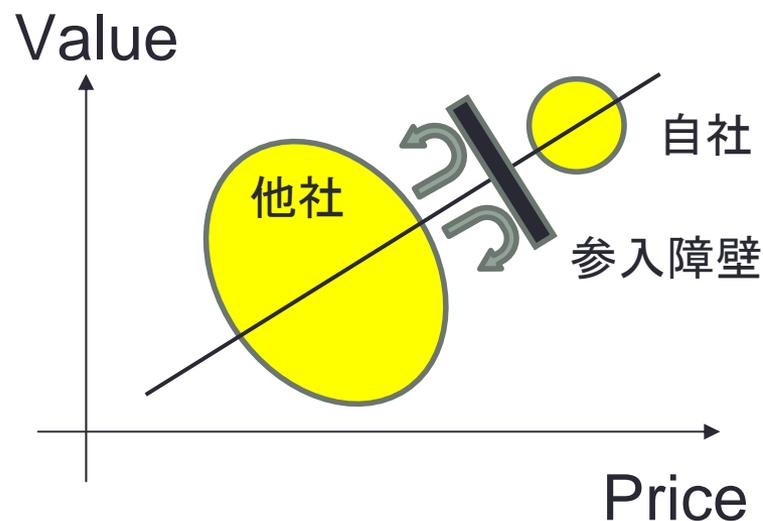
強者の戦略 ミート(同質化)戦略

- ・ 自社製品の**実施(改良)の自由**を確保
- ・ ライセンス(バイ)アウト
(自社製品の改良発明を他社に権利化させない)



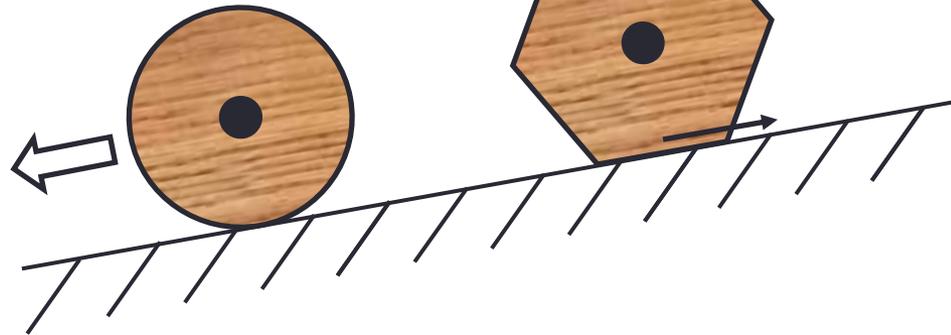
弱者の戦略 差別化戦略

- ・ 特許で**参入障壁**を構築
- ・ ライセンス(バイ)イン



課題: 鉛筆が転がってデスクから落下する

従来技術: 丸鉛筆

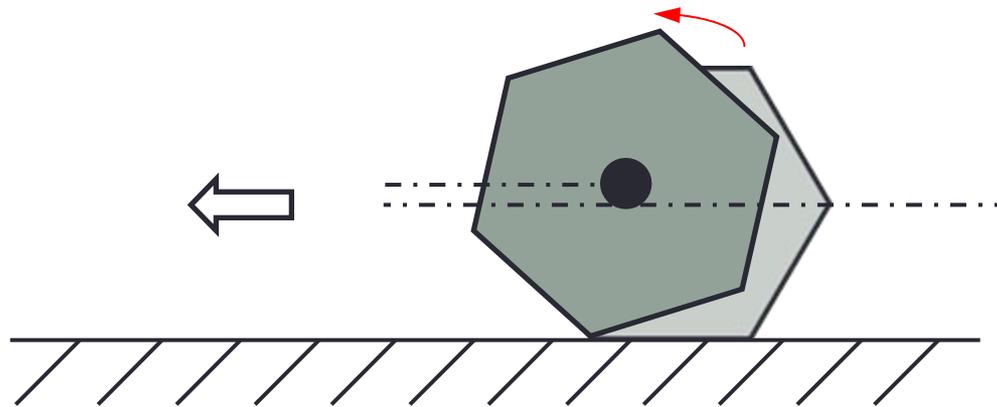


本発明: 六角鉛筆

効果: 転がらない

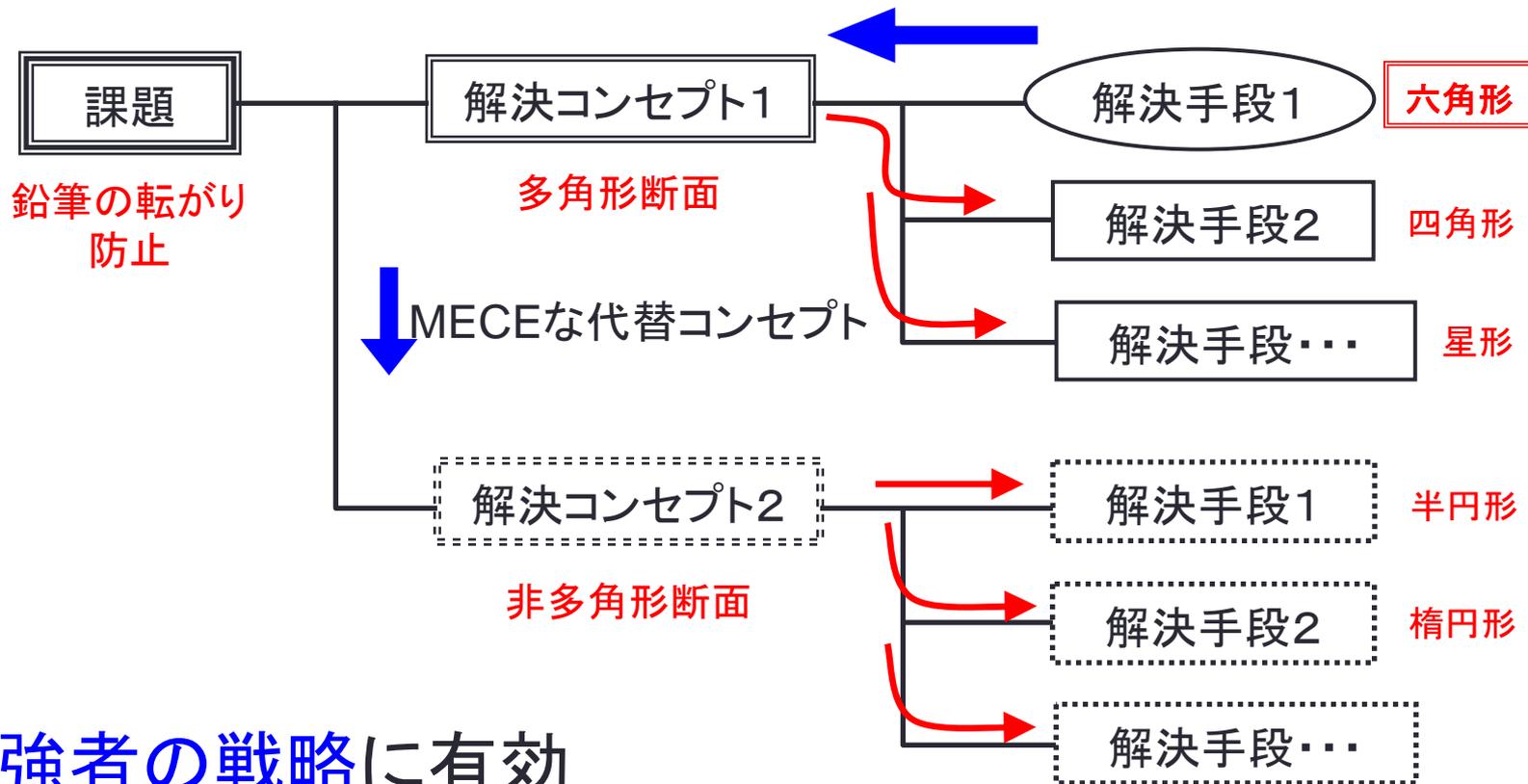


周知の解決手段



回転時に重心が持ち上がるような断面形状であること(凸形状)

課題-解決手段系統図



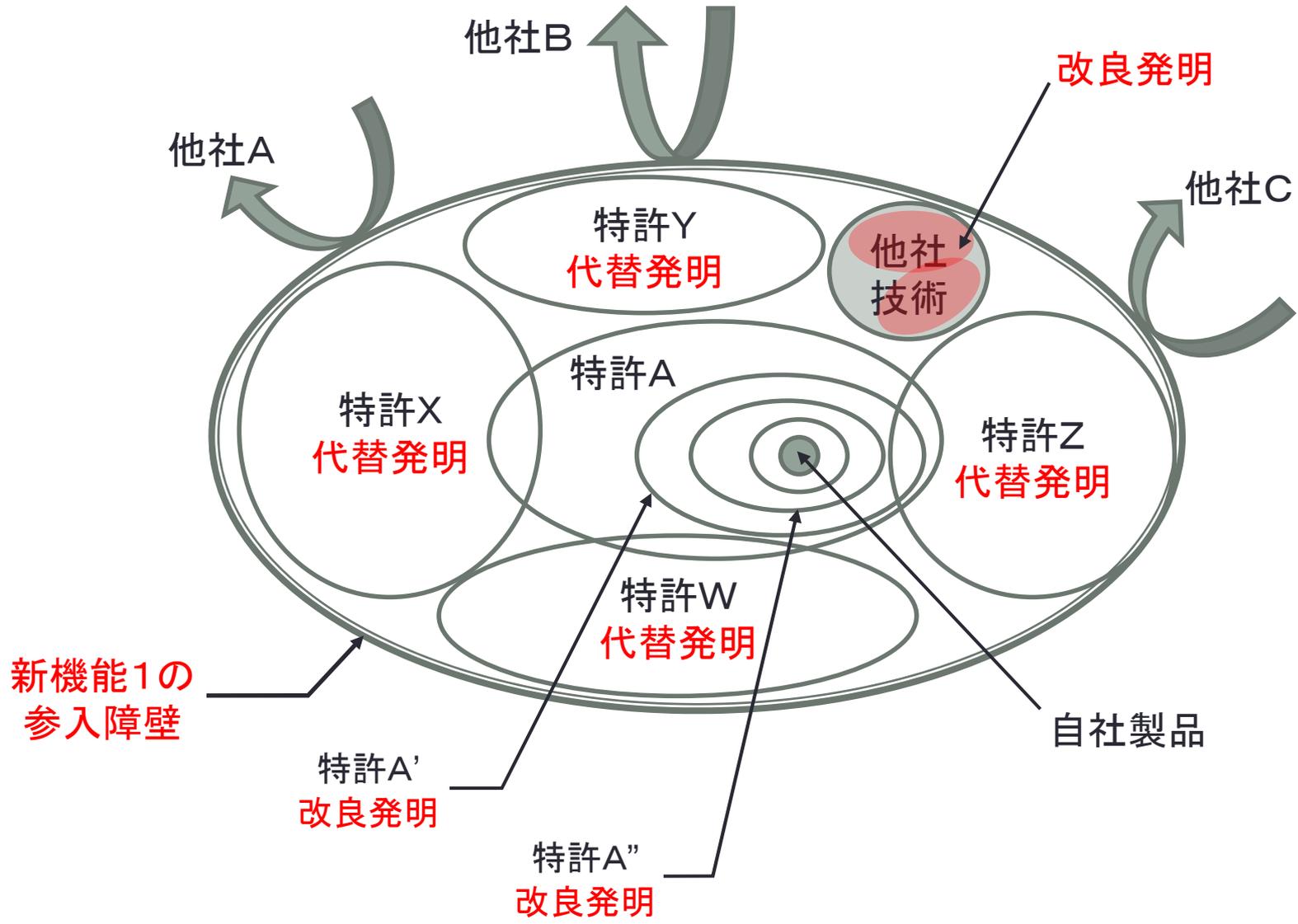
強者の戦略に有効

ただし弱者の戦略には...

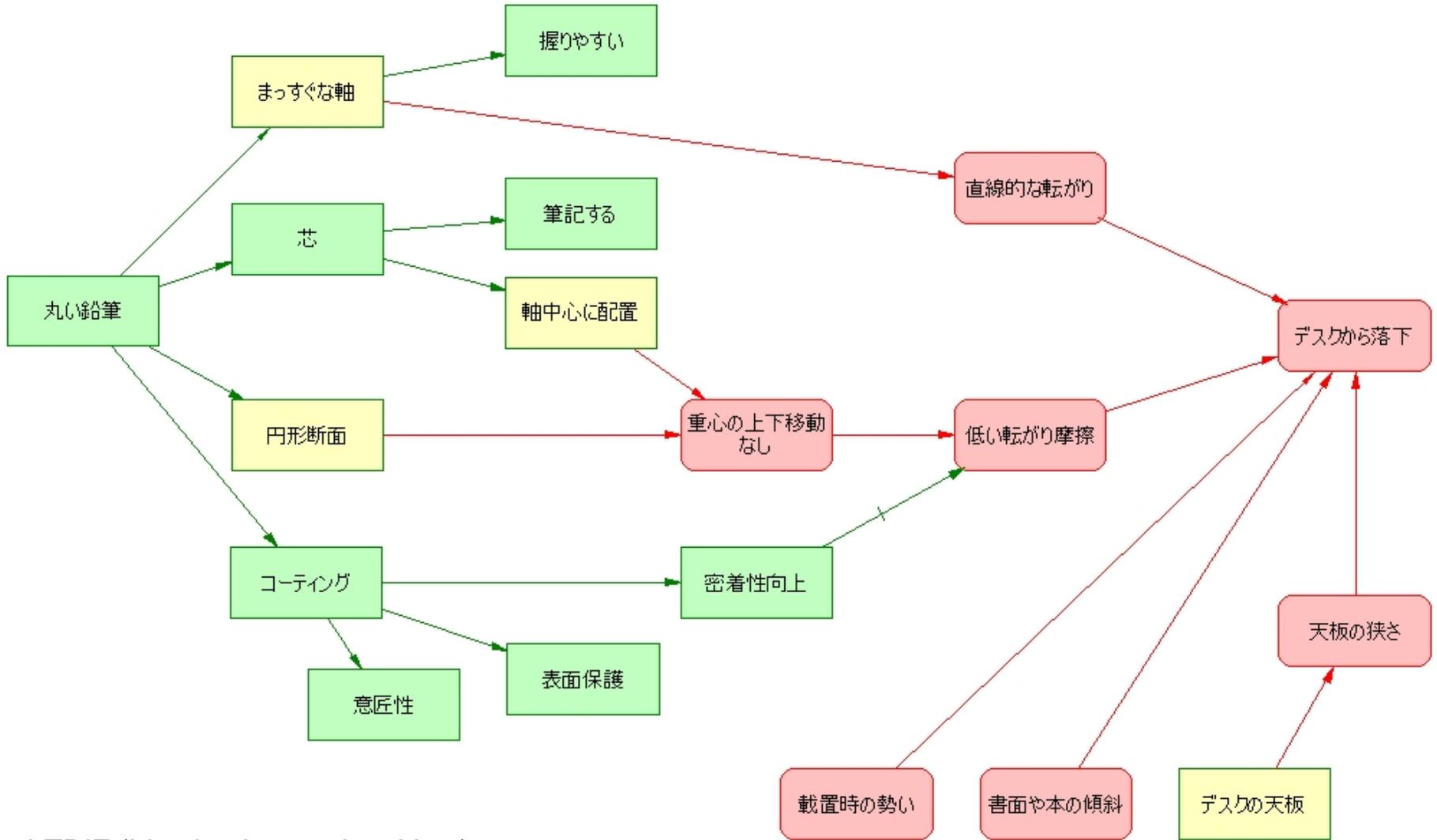
実施(改良)自由度を確保

MECE: 重複なく漏れなく
Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive

出典: 鶴見隆氏



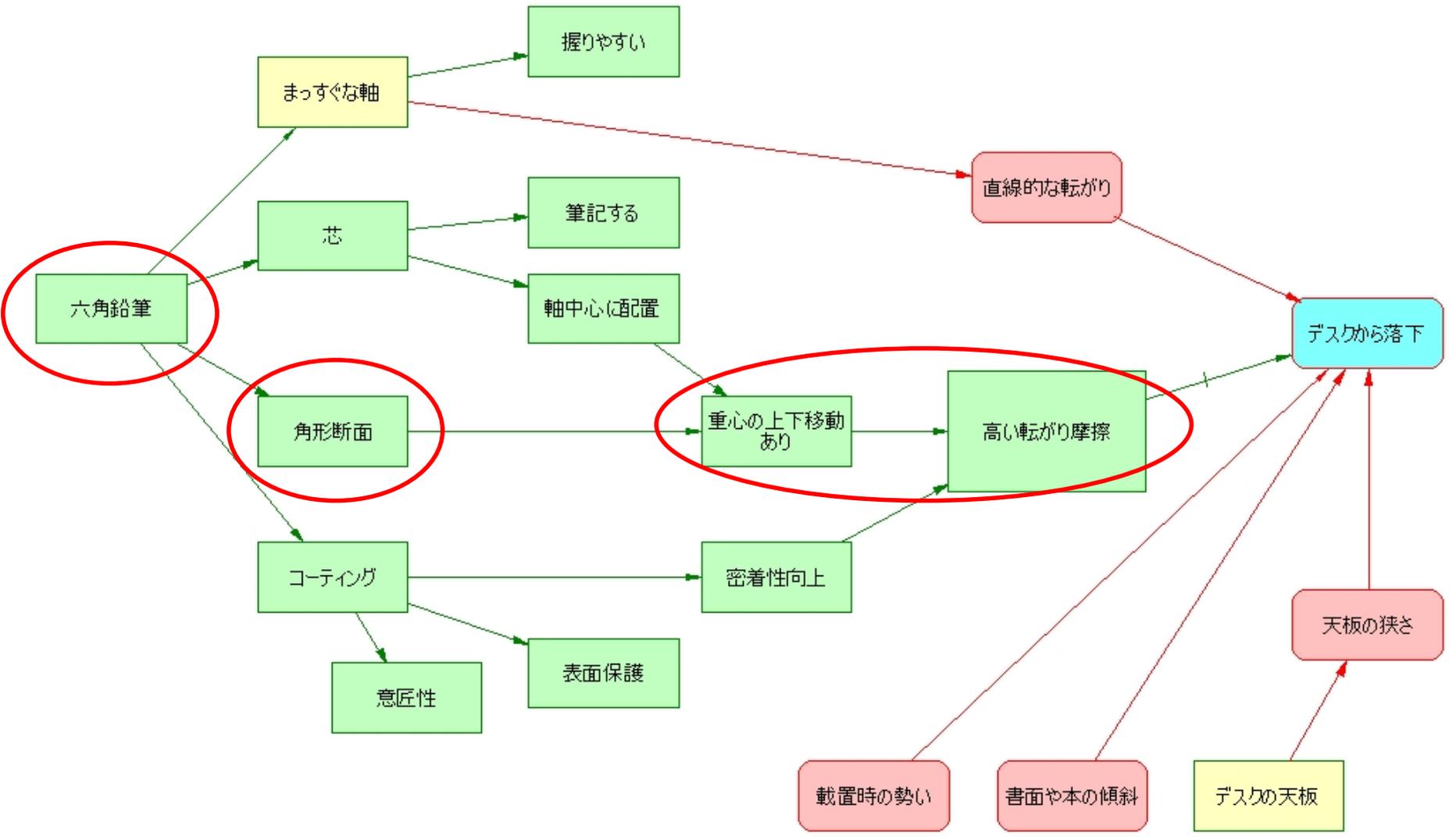
PF(丸い鉛筆の問題状況)



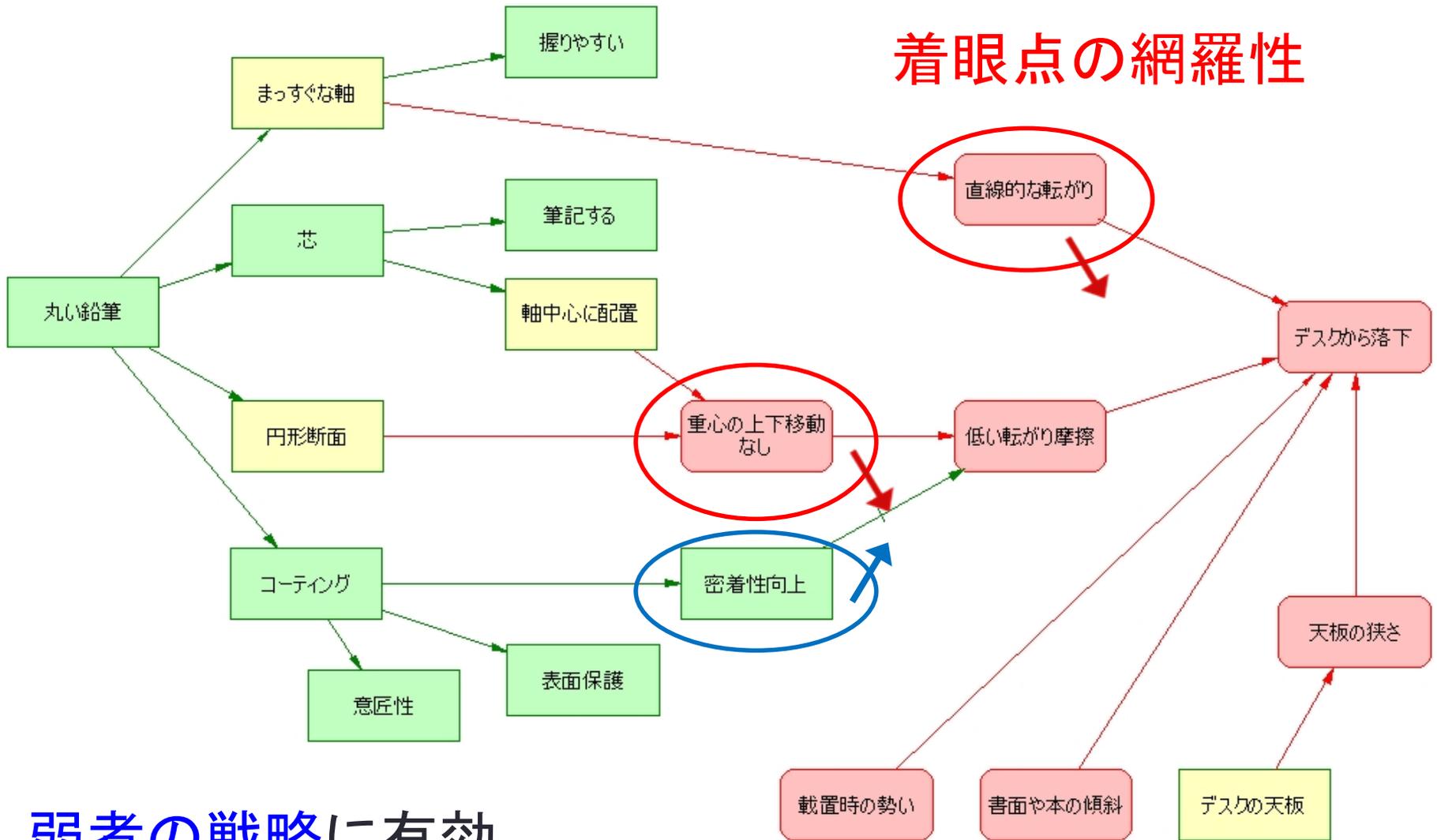
I-TRIZ (Ideation International Inc.)
PF (Problem Formulator ®)

PF(六角鉛筆による課題解決)

4. 解決ツール(I-TRIZほか)と競争戦略



PF(着眼点の可視化)



弱者の戦略に有効

強者の戦略にも有効(二次的問題の解決による発明改良:昨年度発表)

発明の網羅性 = 着眼点の網羅性 × 解決手段の網羅性

発明の網羅性 = 着眼点の網羅性 × 解決手段の網羅性

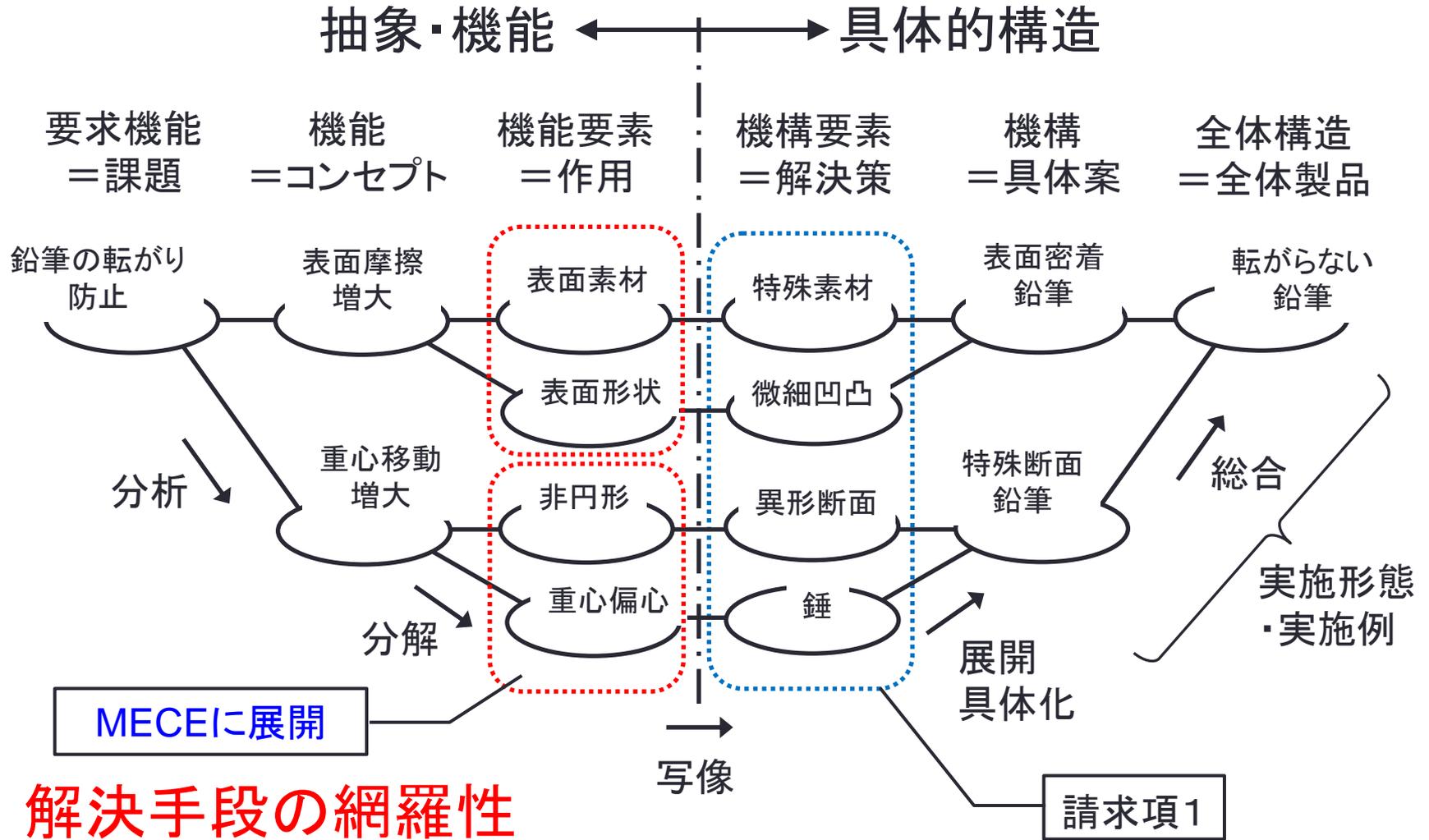


PF (or Su-Field Model)



オペレータ?
他の技法?

思考展開図



出典: 畑村洋太郎氏

前半部まとめ

- ・市場の強者(またはライセンス事業者など)を除き、特許の第一義は参入障壁の構築。
- ・参入障壁の広さはポジショニング戦略(事業戦略)で決定。
目的の広さの参入障壁を構築する(=特許戦略を実現する)ために発明戦略が必要。
- ・課題-解決手段系統図は強者の戦略に有効。
I-TRIZと思考展開図は弱者の戦略に有効、互いに補完性あり。

事業戦略立案



技術戦略立案



後述

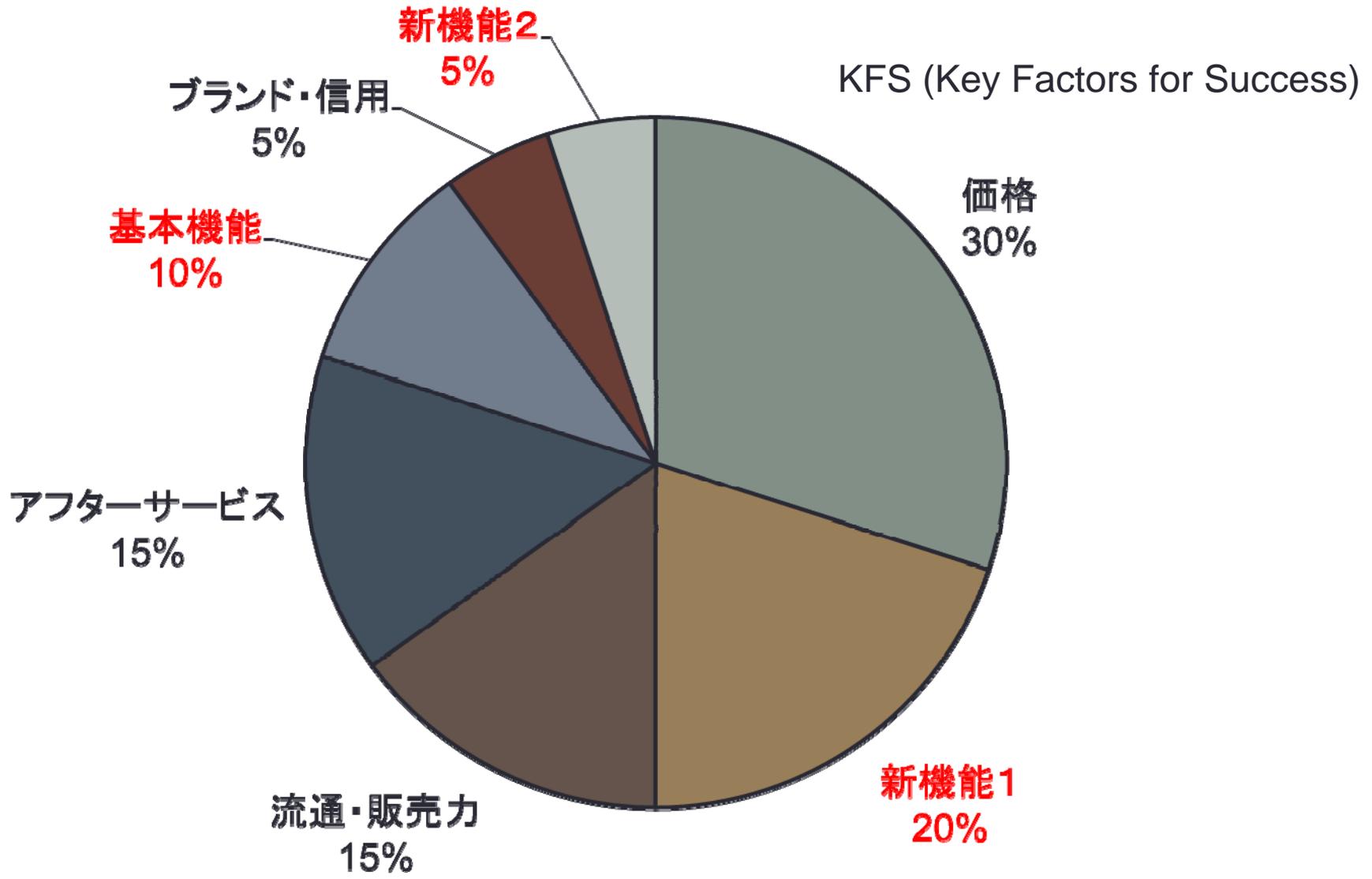


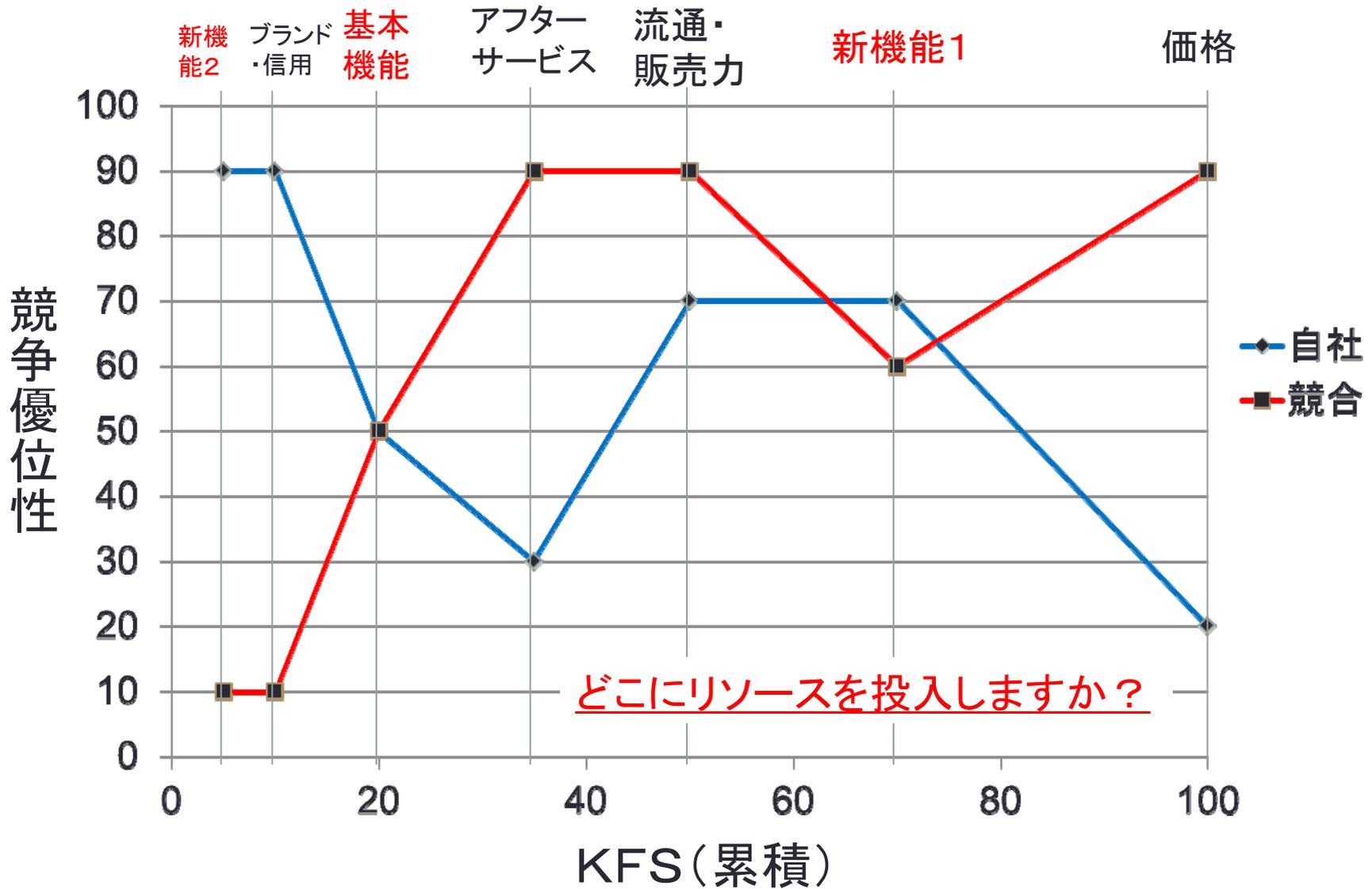
特許戦略立案

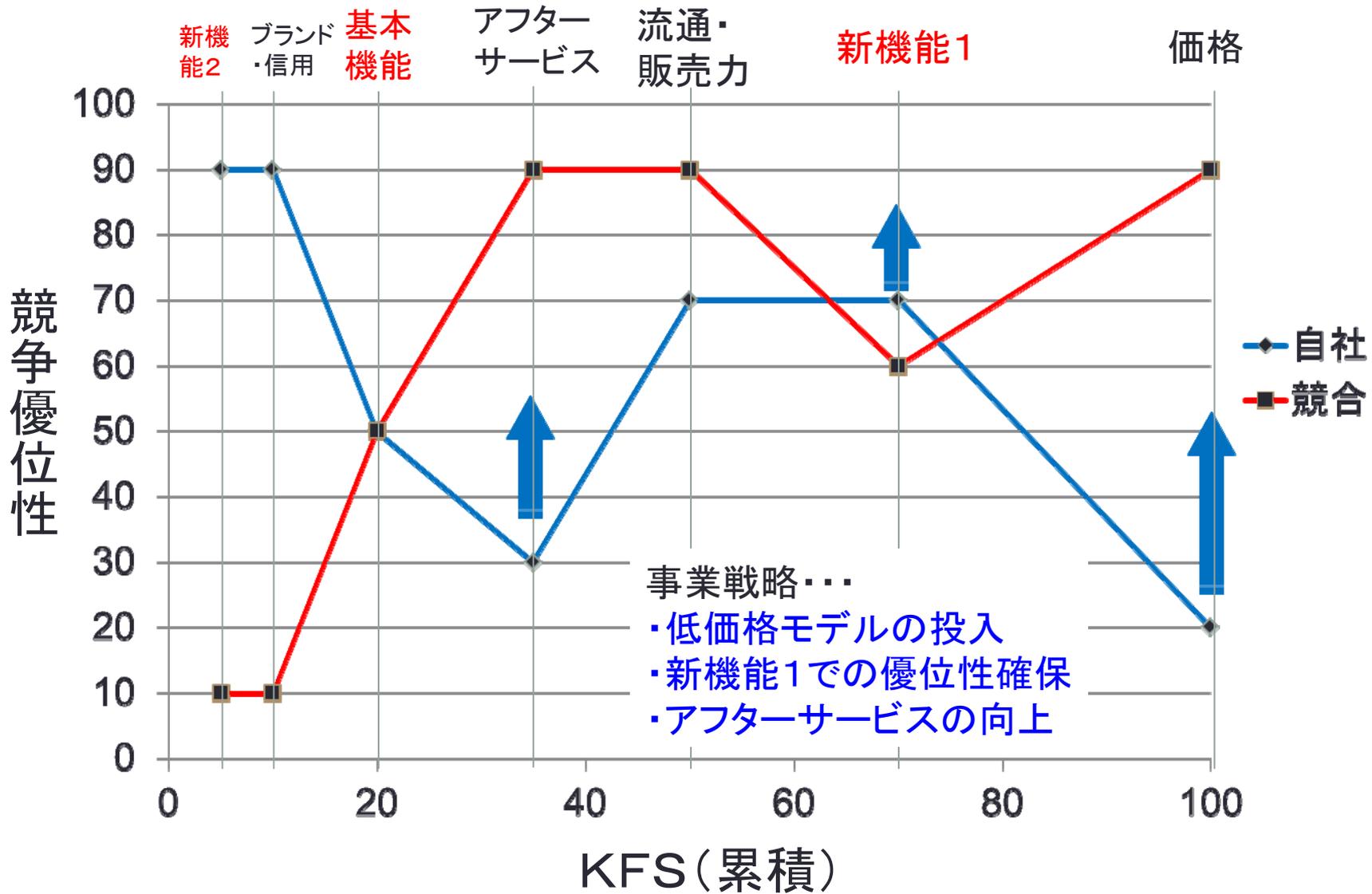


前述

発明戦略







(事業戦略)「低価格モデルの投入」のために

(技術戦略)コストダウン(CD)のための構造・プロセスの開発

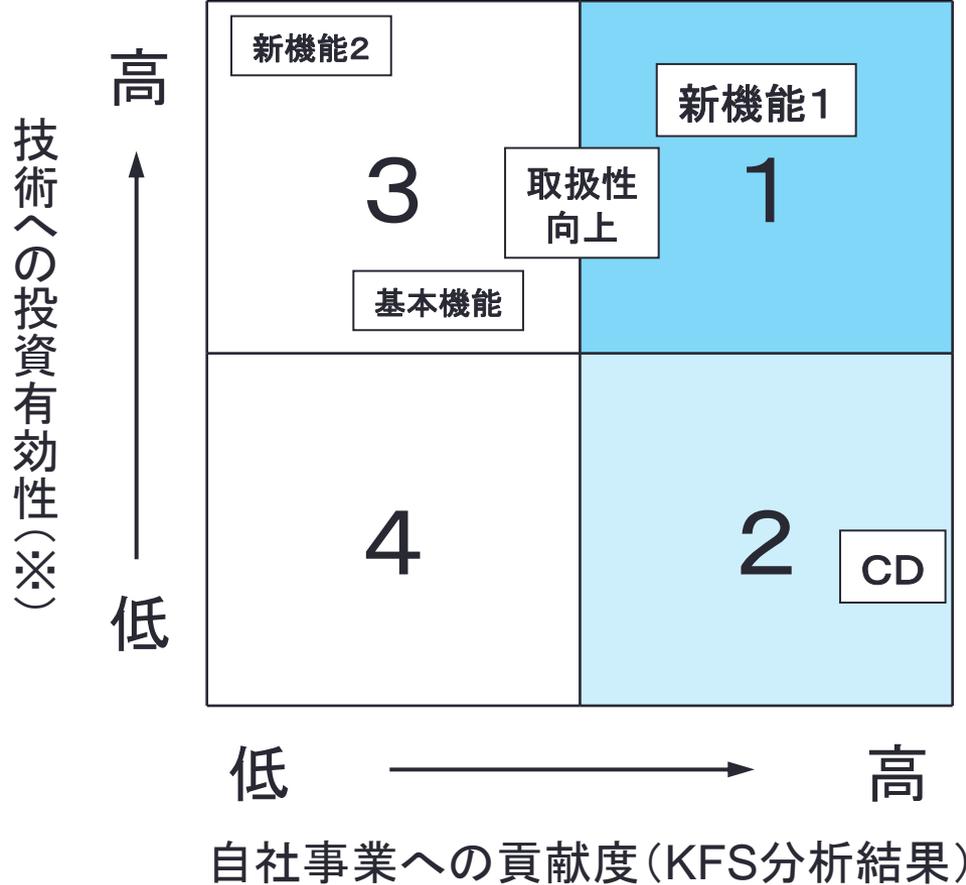
(事業戦略)「新機能1での優位性確保」のために

(技術戦略)自社の新機能1の進化と、競合による進化の阻止

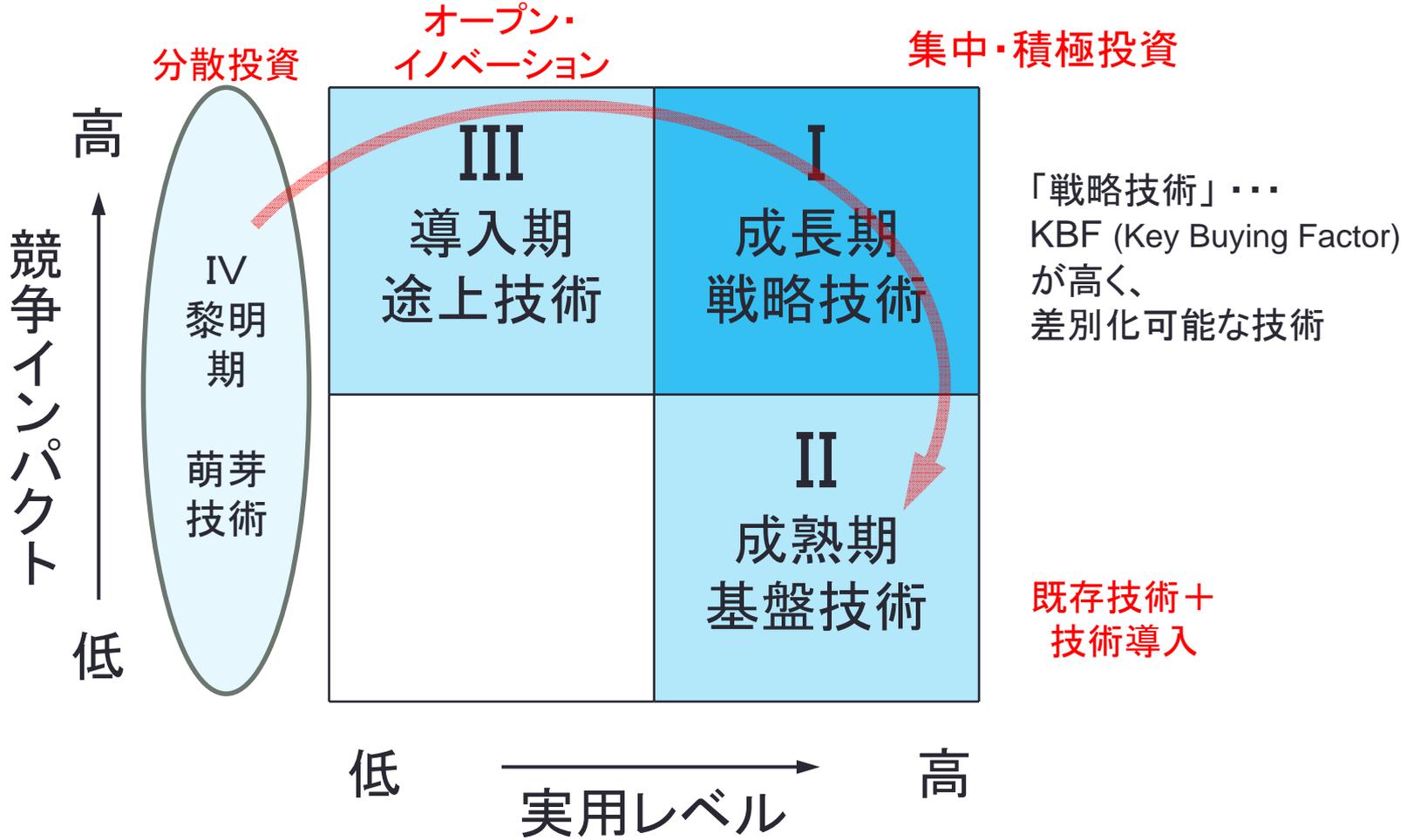
(事業戦略)「アフターサービスの向上」のために

(技術戦略)取扱性を向上する構造の開発

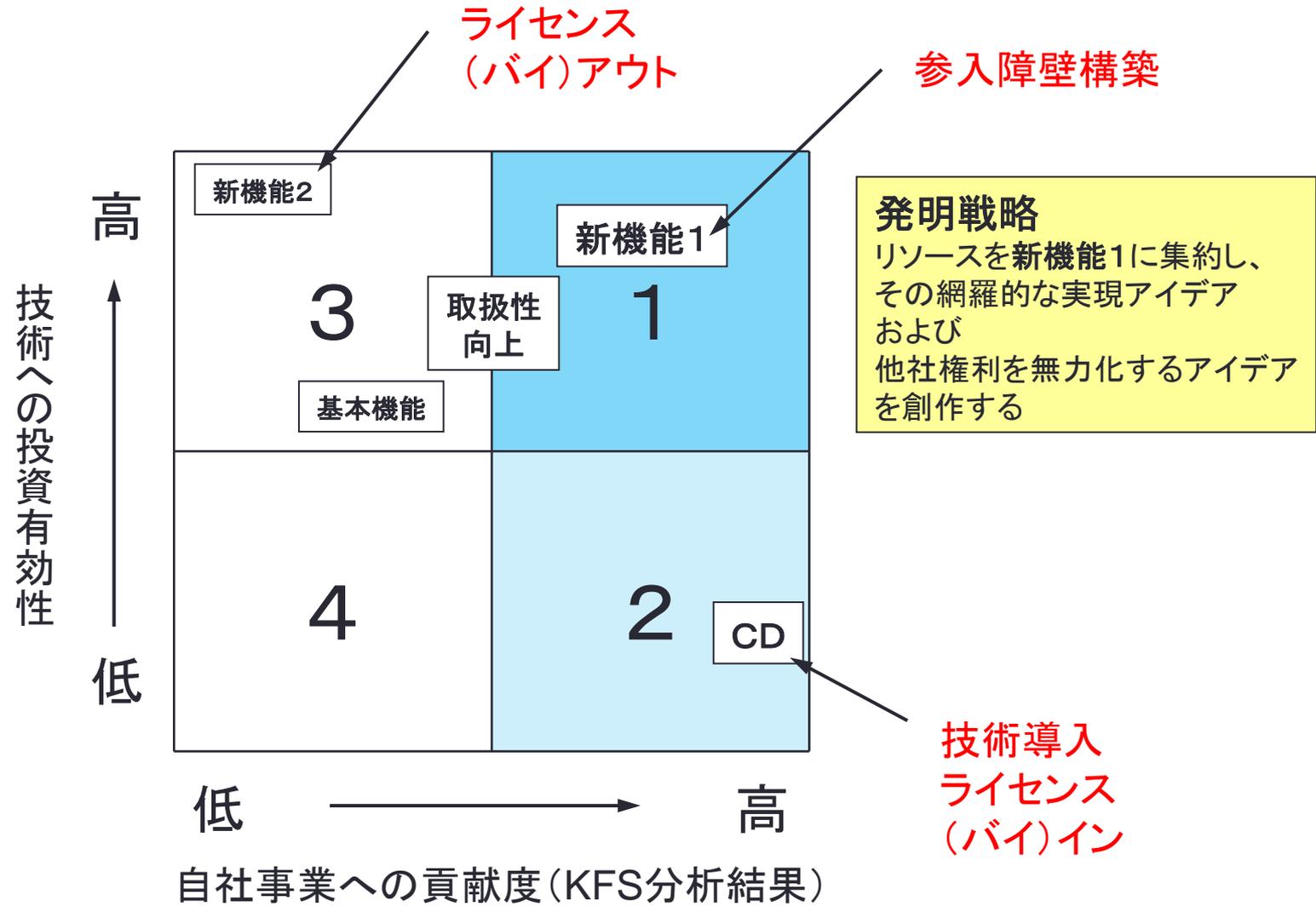
自社技術分析



(※) 技術への投資有効性・・・自社技術の優位性、技術の成熟度、特許による独占期待度から判断される指標



出典:アーサー・D・リトル



すべての技術に対して参入障壁を構築することは**不可能**



「成功要因分析」と「自社の強み分析」で**優先順位**をつけて**強者・弱者の戦略**を**修正**する



新機能1・・・ 参入障壁の構築(=**弱者の戦略**)

新機能2・・・ 実施(改良)自由度の確保(=**強者の戦略**)

- 成功要因分析等の結果に応じて**強者・弱者の戦略**を**修正**する。
これにより、事業戦略-技術戦略-特許戦略が結びつく。

- **発明戦略**は、**三位一体の戦略**を具体的に実現する推進力。
I-TRIZ等の問題解決技法がそのエンジンとなる。

以上